

1年 学年だより



石川県立金沢辰巳丘高等学校

No. 5 平成30年7月19日

7月の旧称は文月。文月は“文”月。学問の月とも言われています。「テストも終わったし、もうすぐ夏休みだしな〜」。誰しもそんな気持ちになるもの。こんな時ほど生活のリズムを崩さず、少しずつでも学習に取り組むようにしたいものです。人がやらない時にやってこそ、差はつくものです。やったことは絶対に無駄にならないし、結果は後で必ず現れます。努力は決して嘘をつきません。

■科目登録

普通コースの生徒は2年生では文系、理系に分かれ、文系はアカデミックコース（国公立4大志望者）、グローバルコース（私立4大志望者）、キャリアコース（短大、専門学校、就職志望者）に分かれます。文系理系選択、コース選択、科目仮登録をしています。お子様とも十分に話し合ってください。不安等あれば保護者懇談で担任にご相談下さい。

■1年生関係の夏期休業中の主な行事予定（詳細日程については生徒を通じてお知らせします）

7月19日、20日、23日 保護者懇談会	20日（月）夏季後期補習（～24日（金））
26日（木）～26日（木）夏季前期補習	26日（日）PTA清掃作業
8月3日（金）美術専攻夏期実技強化講習（～8日）	28日（火）全校登校日、辰巳祭準備
7日（火）中学生のための体験入学	29日（水）夏季休業終了、辰巳祭準備
13日～15日 完全閉校日	30日（木）始業式、辰巳祭準備（食券の販売有り）
16日（木）全校登校日・辰巳祭準備	31日（金）～9月1日（土）辰巳祭

*夏休み中には部活動や補充教室や補習（希望者）もあり、登校する機会も多いと思いますが、お子様が日常生活のリズムを崩さぬようご注意ください。登校日を8月16日（木）に予定しております。夏休み中の課題の進捗状況、生活の様子の確認のための登校日です。お子様が忘れないように一言知らせてあげてください。

■1年生関係の9月の主な行事予定（詳細日程については生徒を通じてお知らせします）

9月3日（月）代休（9/1の分）	9月13日～16日前期新人大会
9月4日（火）課題テスト	9月25日2学期中間試験時間割発表
9月5日～12日部活動強化週間（45分授業）	26日～30日 第7回アートフェスティバル
9月6日進路希望調査	28日ふるさとクリエイティブ講演会（美術）
9月8日（土）進路ガイダンス	30日シンビジウムコンサート

■「漢字の授業」（以前好評でしたのでもう一度…）

2015年にあるお笑い芸人の本が出されました。タイトルは「あっ!命の授業」。TIMのゴルゴ松本さんが出された本です。彼は少年院などに慰問をし、漢字の授業をしながら少年達に生きることの大切さを教えています。今回は彼の授業で言われていたこと、出版記念イベントでの話をピックアップして記載したいと思います。（裏面へ）



◎ 習うという字は「羽」に「白」。最初は小鳥も真っ白な無垢な状態。そこで親が餌をとるために飛んでいく。小鳥も親の飛ぶ姿を真似て、習って羽ばたかせるうちに成長して飛べるようになる。日本語には「習うより慣れろ」という言葉があります。りっしんべんに貫くと書く。習っただけでなくそれを慣れるまで己を貫いて繰り返す事が大切であり、それが「習慣」なんだ。

◎辛いことがあった時、人は愚痴をこぼす。マイナスな言葉や弱音を吐く。「吐」という字は、口へんにプラスマイナス。ただ、嫌なことは吐き出していい。でも、そこから成功する人、夢を実現する人は少しずつ変化していく。どう変化するかというと弱音を吐かなくなる。そしてポジティブなことだけを言うようにする。つまり「吐く」という字からマイナスが無くなる。つまり「吐」うになる。だから物事を前向きにポジティブに考える人は夢は「吐う」んだ!!

◎感謝とは「感じたら謝る」と書く。なぜ「あやまる」という字が使われるのか。それは人間が生きるためにいろんな命をいただいているのです。植物・野菜・魚・肉、すべて命あるものを人間が食べることで命をつなげてきたのです。それに対するありがとうございますというお礼が含まれているのです。食事の前に「いただきます」と言いますよね。これは本来は「天地の恵み、命いただきます」って意味なんです。だから感謝して食べてほしいのです。

◎「幸」と「辛」について幸せでも、何か欠けたら辛くなる。辛くても、何か加われば幸いになる。幸せという字は逆さまにしても同じように読める。しかも真ん中は末広がりになる。幸せな状態でひっくり返って躓いても幸せだと言うこと。考え次第で辛くもなるし幸せにもなる。

◎「苦」「困」「災」に「難」を加えると「苦難」「困難」「災難」 こういうことが起こると不幸だと考えてしまう。「難」が無い人生を「無難」という。ただ、生きている上で無難な人生なんてありえない。だから、「難」が有る人生が当たり前。昔の人は「有」「難」と書いて「有難（ありがた）」し。としたんだ。

◎「命」は、人を一叩き（ひとたたき）と書く。 殴ったり蹴ったり、人を痛めつけることで命を感じる。これは大間違い。寝てる時、無意識の時、今も叩き続けているのが心臓。心臓の一叩きの連続が命なんだ。その命を命懸けで産んだのはお母さんだ。女性です。命の始まりは女なんです。「女」が土「台」となって「始」まりと書きます。だから俺ら男は、女の人を粗末にしちゃ絶対ダメなんだ。君らを産んだお母さんは命懸けで君らを産んだんだ。それは間違いない。つまり命懸けで産んだものが命なんだ。人間はそれを何度も繰り返してきたんだ。

*ここ最近、本来の言葉の力が機械を通すことで違ったとらえ方になってしまい、SNSでのトラブルは増加しています。やはり大切なのは面と向かっての会話、普段からのコミュニケーションだと思います。ぜひこの夏休みにお子さんと積極的に会話をしてください。高校生ですから嫌がるお子さんもいるでしょう。ただ、おや？と思ったら、たった一言だけでもいいので声を掛けてあげてください。とくに夏は思わぬ事故や事件が多い季節です。そんな事故や事件に巻き込まれないためにも、是非お子さんの時間を大切に有意義な夏休みにしていただきたいと思います。

前回の学年便りに保護者の方々からいただいたコメントを掲載しなかったのですが、「漢字の授業」の内容が思いのほか字数を取ってしまいました。次回の学年便りに掲載したいと思います。 (文責：1年学年主任 田村 達)

-----き り と り-----

感想欄

生徒 H 番 氏名 () 保護者ご氏名 () 印

※この感想用紙で保護者の方にご覧いただいたことを確認いたします。必ずご提出下さいますようお願いいたします。